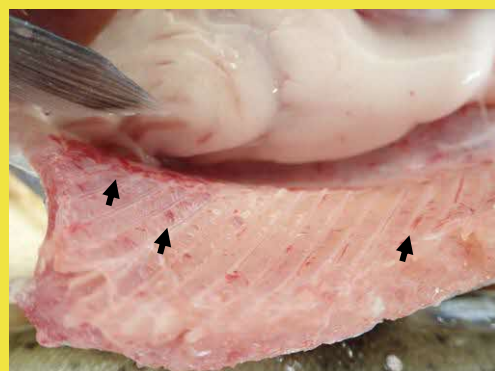
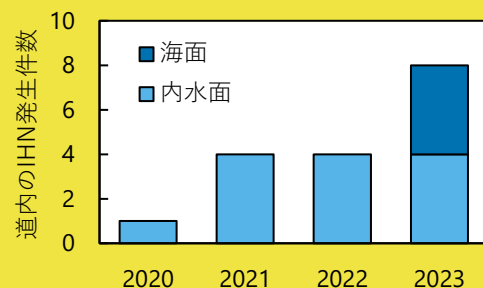


伝染性造血器壊死症（IHN） にご注意ください！

IHNってなんですか？

IHNウイルスに感染してしまうことで発生する**ウイルス病**で、ニジマスをはじめとした**多くのサケ科魚に発生する病気**です。1g程度の稚魚から1kg程度の大型成魚まで幅広く発生し、最悪の場合**池・生簀内の魚が全滅してしまうほどの病気**です。現在のところ**治療法はありません**。北海道内におけるIHN発生件数はここ数年で年々増加しています。

IHNウイルスに感染した魚は**貧血症状**（えらや肝臓が白っぽくなる）や**筋肉に点状の出血斑**（写真）などの症状が出ます。また上から観察すると目玉が飛び出していたり、身体が黒ずみ、膨らんで見えることもあり、力なく泳ぐ様子も観察できます。



IHN対策のポイント

持ち込まない

健康種苗を導入しよう

導入前に購入種苗の状態をよく確認し、健康種苗を導入しましょう。卵は消毒も可能です。また、病気の発生に早く気づくため、日々の飼育記録をとっておくことも重要です。



持ち出さない

感染魚の移動は避けよう

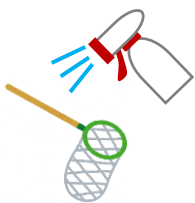
感染魚は見た目ではわからなくてもウイルスを持っている可能性があります。他水域の汚染を避けるため、感染の可能性が懸念される魚は極力移動しないようにしましょう。



拡げない

道具を消毒しよう

飼育に使う道具は塩素などで消毒してから使用しましょう。使用後の消毒も忘れずに。池・生簀ごとに道具を専用化することも効果的です。



増やさない

ウイルス量を減らそう

へい死魚からウイルスが大量にまき散られます。へい死魚を速やかに回収し、池・生簀内にウイルスを増やさないようにしましょう。

